

ご使用方法

●はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。

●製品にガタつき、破損などはないか、部品が不足していないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

●ご使用の前に

1 コーヒー粉の粗さを調整する

最初にホッパーに少量の豆を入れて挽きながら
コーヒー粉の粗さを調整してください。

＊コーヒー粉の粗さの調整方法を参照してください。
(P2参照)
粉受けにバンドをセットしてからホッパーを時計回りに
回してセットしてください。

2 コーヒー豆を本体(ホッパー)に入れる

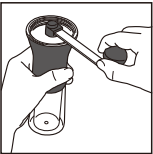
コーヒー1杯分(120mL)は、約10g～12gが目安
です。一度に約30gまでのコーヒー豆を挽くことが
できます。

＊一度に容量以上のコーヒー豆を挽くと故障の原因とな
りますのでご注意ください。30g以上のコーヒー豆を挽
く時は、2回以上に分けてご使用ください。

3 コーヒー豆を挽く

本体(ホッパー)を手でしっかり押さえ、ハンドルを
時計回りにゆっくり回すと豆が挽けます。

＊ハンドルを反時計回りに回すと挽き臼を傷めますので
絶対にしないでください。コーヒー豆を挽く際は必ずふ
たをはめてからご使用ください。



ご使用上の注意

●ハンドルは必ず時計回りに回してください。

●反時計回しで回さないでください。空回しをしないでください。
(臼を傷め破損の原因となりますので、絶対にしないでください。)

●お子様に使用させないでください。また、乳幼児のそばで使用したり、
乳幼児の手の届く場所には置かないでください。

●いたずらにも注意してください。

●お手入れの際は油をささないでください。

●注意

●破損の原因となりますので、コーヒー豆を挽く以外にはご使用にならな
いください。

●粗さ調整つまみを時計回りに回しすぎると、臼同士が接触して臼を傷め
る原因となりますのでご注意ください。

●回転が重い状態で無理にコーヒー豆を挽くと部品を傷めるのでご注意
ください。

●ホッパー内部のコーヒー豆がスムーズに落ちずにハンドルが空回りする
ことがありますので、使用中に本体を軽くたたきホッパー部内側のコー
ヒー豆を落としながら挽いてください。

●危険ですのでハンドルを回す際は臼の隙間に指などを入れないでください。

●ストーブやコンロなどの火気のそばに近づけないでください。

●高温になる場所に放置しないでください。溶けたり、変形する原因になりま
す。倒したり、落としたり、ぶつかけたり、製品に強い衝撃を与えないでください。

●臼に硬いものをぶつかけたり、本体を落としたりすると臼が欠けたり割れ
たりする原因となりますのでご注意ください。

●本来の用途以外では使用しないでください。

●改造・修理したりしないでください。事故や故障の原因になります。

●洗った後は水分をふき取り、十分に乾かしてください。サビの原因になります。

●部品が多いので紛失にご注意ください。またお子様にも十分ご注意ください。

お手入れ方法

●分解して水洗いをすることができます。

●分解する際は、部品をなくさない様に十分ご注意ください。

●食器洗い乾燥機や家庭用漂白剤は使用しないでください。

●アルコールを使わないでください。

●煮沸をしないでください。

●お手入れの際に油などをささないでください。

●注意

製品仕様

材料の種類	
ハンドルつまみ	A B S 樹 脂
ハンドルアーム	ス テ ン レ ス 鋼
シャフトカバー	ポリプロピレン
シャフト	ステンレス鋼
ふ た	メタクリル樹脂
ブ ッ シ ュ	ポリアセタール
ホ ッ パ ー	ポリプロピレン
外 臼 / 内 臼	セ ラ ミ ッ ク
外 臼 押 さ え	ポリプロピレン
内 臼 押 さ え	A B S 樹 脂
ばね/ワッシャー	ステンレス鋼
粗さ調整つまみ	A B S 樹 脂
バ ン ド	シリコーンゴム
粉 受 け	メタクリル樹脂

品 名 セラミックコーヒーミル

品 番 ACG-BKP / BRP

※ハンドルを反時計回りに絶対に回さないでください。
臼が破損する原因となります。

※コーヒー豆を挽く際は必ずふたをはめてご使用ください。
豆が飛び出すおそれがあります。

MADE IN CHINA

※部品がなくならない様ご注意ください。

●部品は消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無い
かを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換
してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046
東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870
受付時間／9:00～18:00
月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。



取扱説明書

このたびは、当社のセラミックコーヒーミルをお買
い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後まで必ず
お読みいただき、正しく安全にご使用いただきます
ようお願いいたします。また、本書は、万一ご使用中
にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつ
でもみられる所に大切に保管してください。

ご使用の前に

●はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、部品
のひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。

●製品にガタつき、破損などがないか、部品が不足して
いないか確認してからご使用ください。

●はじめてご使用になるときは、食器用洗剤でよく
洗ってからご使用ください。

※説明中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなど
を変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ

シャフトカバー

ハンドルつまみ

ハンドルアーム

ふた

シャフト

ワッシャー

ブッシュ

ホッパー

外臼

外臼押さえ

ブッシュ

ばね

ワッシャー

内臼

内臼押さえ

粗さ調整つまみ

バンド

粉受け

コーヒー粉の粗さの調整方法

コーヒー粉の粗さを調整し好みのコーヒーに仕上げられます。

1 ハンドルを付ける

粉受けをはずし、ホッパー上部にハンドルを付けます。

2 粗さ調整つまみを締める

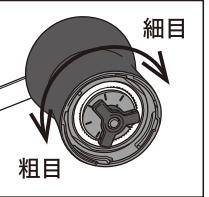
ハンドル中心部分をしっかり押さえ、底面の粗さ調整つまみを時計回りに締めます。回す力が重くなったところで止めます。締め込みすぎると臼を傷めますのでご注意ください。

※この時、等間隔にカチッカチツとクリック音があることを確認してください。
無い場合、粗さ調整つまみの向きを確認してください。(P4参照)

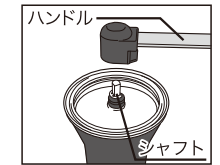
3 粗さを調整する

2で締めたその位置をゼロとして反時計回りに12～14クリック回したところが標準の粗さ(中細挽き)です。粗さ調整つまみを時計回りに回すと粉が細くなり、反時計回りに回すと粗くなりますので好みで調整してください。

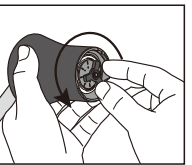
目 安	クリック数
粗挽き	17～22
中挽き	15～16
中細挽き	12～14
細挽き	0～11



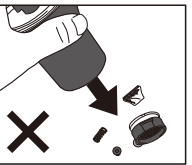
分解方法



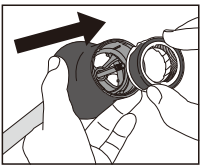
①ハンドルをシャフト部分に固定してください。



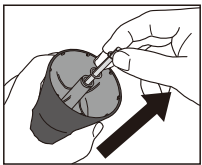
②ハンドルを押さえ、ホッパー部を横に倒し粗さ調整つまみを反時計回りに回してはってください。



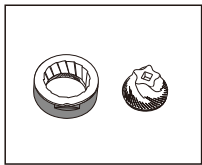
ホッパー部を立てたまま粗さ調整つまみをはずすと臼が脱落して破損の原因になります。



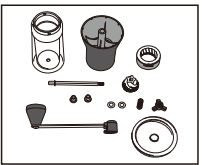
③粗さ調整つまみを取りはずし、内臼・外臼・ワッシャー・ばね・ブッシュ(下)を取りはずします。



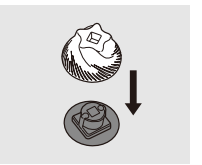
④ハンドルを取りはずして上からシャフト、ワッシャー、ブッシュ(上)を引き抜きます。



⑤臼にはコーヒーの油分が付着していますので、薄めた中性洗剤に浸け置きし十分にすすぎ洗いをしてください。

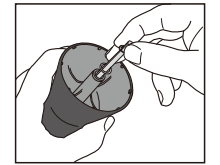


⑥洗浄後、完全に乾燥させてからご使用ください。

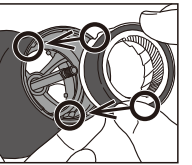


※内臼と内臼押さえがお手入れ時にはずれることがありますが、ご使用に問題はありません。

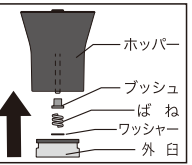
組み立て方法



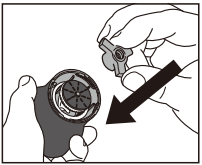
①ホッパー部に上からブッシュ(上)、ワッシャーを装着して、シャフトをセットください。



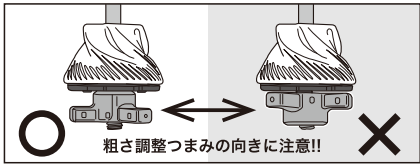
②ホッパーの下から外臼を組み込みます。※各部品の向きにご注意ください。



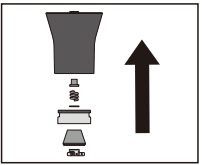
③次にブッシュ(下)、ばね、ワッシャーの順に、シャフトに通します。



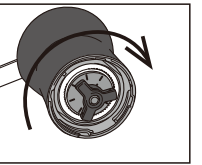
④ホッパーの下から内臼をセットし、粗さ調整つまみを時計回りに締めて装着完了です。



※粗さ調整つまみの向きを確認してください。部品を傷めたり、破損する可能性があります。



⑤きちんと上記の順序で組み込まれているか、確認してください。



⑥粗さ調整つまみは回転の重みが増えるところまで回してください。※締め込みすぎると臼を傷めますのでご注意ください。